

## (6) 行政・社会の仕組みづくり

### デジタルサイネージ(電子看板)運用事業

新

⇒ 3,000千円

(担当:企画財政課)

大竹駅前のメディアステーション「みくらす」及び総合市民会館ロビーに設置するデジタルサイネージ(電子看板)により、行政情報や地域のニュース、天気など、さまざまな情報を発信します。(※「平成23年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください)

### 定住促進(まちの魅力発信)事業

拡充

⇒ 3,366千円

(担当:地域振興課)

現在大竹市に住んでいる市民のみなさんがこのまま住み続け、市外の方も大竹市に移り住んでもらえるような魅力あるまちづくりを進めることにより、本市の人口減少に歯止めをかけ、まちの活力低下の抑制を図ります。そのためには、まずは大竹市の魅力を知っていただくことが必要です。

平成21年度に策定した「大竹市定住促進アクションプラン」に基づき、定住促進ガイドブックの作成、ホームページの作成などを実施します。

### コミュニティづくり推進事業

⇒ 5,460千円

(担当:市民課)

地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行います。

また、「コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」の開催を支援するとともに、市民発信型の事業運営をめざした取り組みを進めます。

### 市民活動支援事業

⇒ 400千円

(担当:地域振興課)

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成を行うことにより、市民ニーズに対する満足度を高めるとともに、市民活動の自主性の向上を図ります。

## 土地造成支援事業

⇒ 418,500千円

(担当:企画財政課)

大竹工業団地に立地した工場に賦課される固定資産税額に相当する額の26.5%と従来支援分(95,800千円)及び土地造成特別会計に関連のある土地売払収入の一部を大願寺地区土地造成事業の円滑な推進のため土地造成特別会計へ繰り出します。

## 土地開発公社経営健全化対策

⇒ 23,114千円

(担当:監理課)

土地開発公社が保有する土地の簿価上昇抑制のため、債務保証対象土地等に係る借入金の利子補給を行います。